令和7年度 未来を先導する世界トップレベル大学院教育拠点創出事業

グローバル社会を牽引する博士イノベーター育成大学院拠点

― グローバルとローカルが融合する未来社会を創生する ―

未来を先導する世界トップレベル大学院教育拠点創出事業

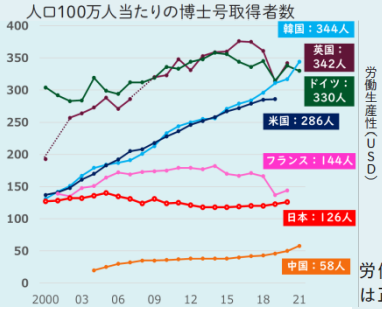
～『徹底した国際拠点形成』と『徹底した産学連携教育』による博士人材育成強化～

令和7年度予算額（案）　19億円
（新規）

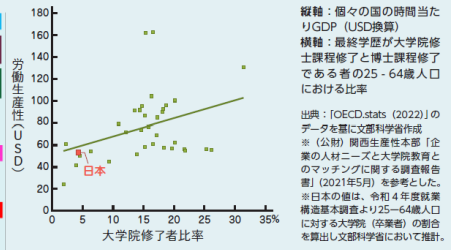
現状・課題

- 生産年齢人口が減少する中、我が国が国際的な競争力の維持・向上を図るためには、**一人一人の生産性・価値創造性を高める**とともに、**技術革新を生み出す人材の育成**が不可欠
- **大学院教育の国際性を高め、産業界と積極的に連携**することによって、より多くの高度な博士人材の育成・輩出を図り、「博士＝研究者」というイメージを変革していくことが必要
- 高等教育全体の規模の適正化に伴い、研究大学は、学部から学内資源を大学院にシフトするなど各大学のミッションを踏まえた大胆な変革が必要

■ 諸外国との比較



■ 大学院修了者比率と労働生産性の関係



労働力人口に占める大学院修了者比率と労働生産性には正の相関がある

事業内容

【目的】産業界及び国内外の教育研究機関との連携強化や、学内外における教員・学生の多様性・流動性を向上させることで、世界トップレベルの大学院教育を行う拠点※を形成する。

その際、**豊かな学識と国際性、高度な実践性を身に付けた博士人材を育成**する機能を高めるとともに、組織内の資源配分の見直し等により、**質の高い博士人材の増加**を図る。

※ 世界から優秀な学生・研究者を呼び込むことができ、産学連携や国際共同研究の環境が整い、世界水準の学術や実務の最前線を知る教員からの教育・研究指導により博士人材を多数輩出できる大学院

【事業スキーム】

支援対象

- **10-15年後の大学院教育の姿**とそこに至る**プロセス・具体的取組等**を示す『**大学院改革ビジョン**』**を策定**
- ディシプリンにとらわれない社会課題をテーマとした学位プログラム構築などの取組を改革の推進力（Driver）としながら、ビジョンの実現に向けた**全学的改革の取組**を支援

（総合型）研究科等を越えて変革を目指す総合大学における全学的な取組を対象
（特色型）一定程度の規模の博士課程を備える大学で強みや特色の伸長を目指す全学的な取組を対象

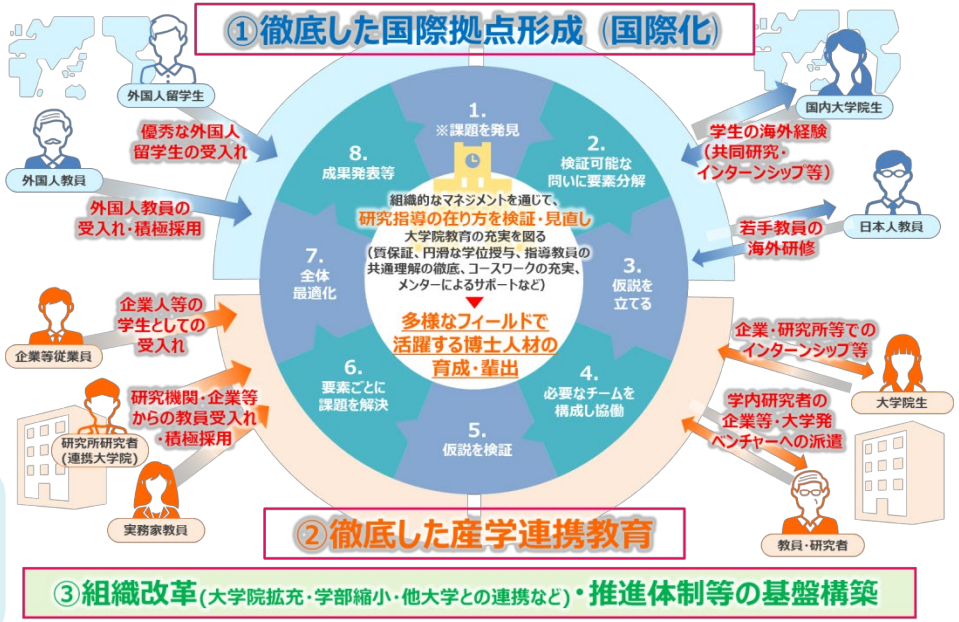
※ 大学ファンドによる支援を受けていない大学を対象とする

大学院改革ビジョン

① 徹底した国際拠点形成（国際化）　② 徹底した産学連携教育
③ 組織改革・推進体制等の基盤構築
の各要素を含み、それらを一体として実現する将来構想

✓ 併せて、課題発見から成果発表までの研究指導の在り方を、組織的なマネジメントを通じて検証し見直すことで、既存の研究科を含めて大学院教育の改善・充実を図る

世界トップレベル大学院教育拠点の取組のイメージ



※循環図は、研究大学コンソーシアム提言「これからの博士人材の育成の考え方」（2024.5.30）を基に文科省にて一部改変

事業実施期間	令和７年～令和13年（７年間）
件数・単価	(総合型)　４箇所 × ３.７億円 (特色型)　２箇所 × １.７億円
交付先	大学院を設置する国公私立大学

事業成果

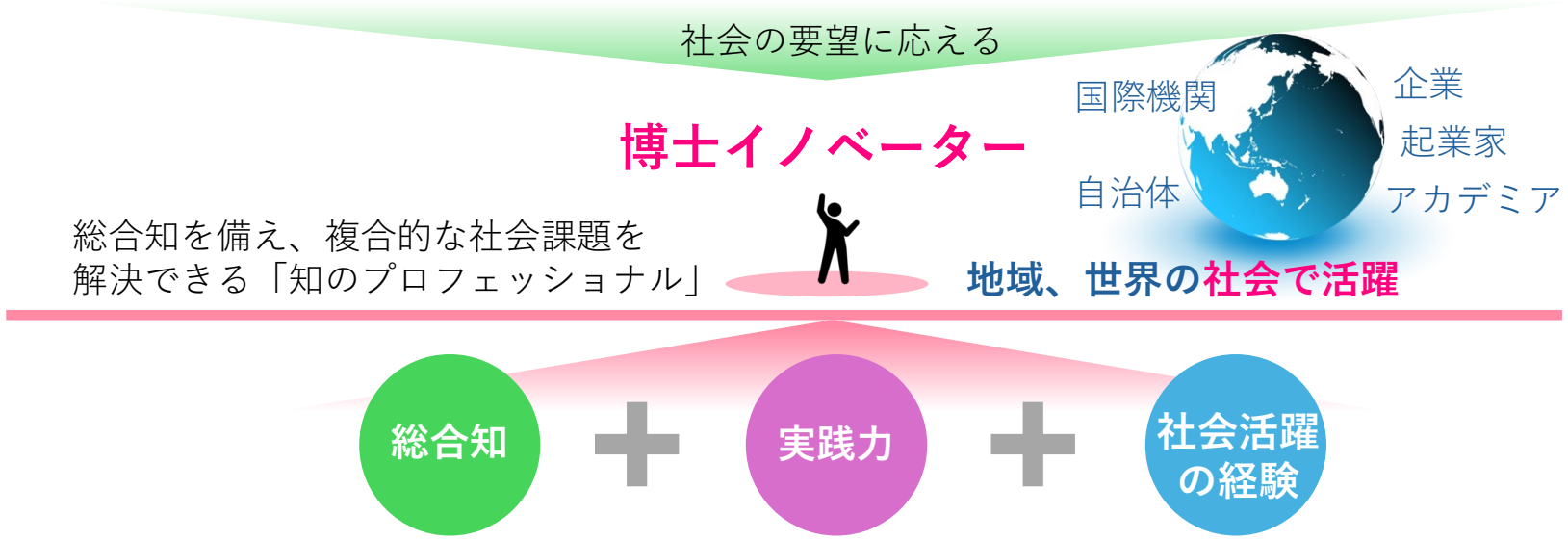
- **豊かな学識と国際性、高度な実践性**を身に付けた**質の高い博士人材の輩出。**
- **徹底した国際化や産学連携による教育**を通じた**世界トップレベルの大学院教育拠点の形成。**
- **学内資源の大学院へのシフト**などを通じた**大学院教育の基盤強化。**

（担当：高等教育局高等教育企画課）

魅力ある大学院への改革

新潟大学が育成する博士イノベーター

従来の専門知のみでは解決できない複雑化した社会課題に対応できる高度専門人材が求められている。
新潟大学は、このような社会の要請に応える博士人材を育成する責務がある。
大学院改革を通して、すべての教員が、博士人材育成を担う状況を作り、博士イノベーターを社会に輩出する。



本学の実績・強みを活かした魅力ある大学院への改革

実績・強み

- 融合大学院構想の実現
- 地域社会連携による『実践の場』の強化
- 国際拠点形成の推進
- 研究のフラッグ化
- キャリアサポート

改革進め方

融合大学院構想を独自に実現し、その上で本事業を活用し、**3つの戦略**で**大学院教育拠点を創出**

戦略1	戦略2	戦略3
高度な総合知の涵養	グローバル共創実践教育	優秀学生獲得社会活躍

グローバル社会を牽引する博士イノベーター育成大学院拠点

― グローバルとローカルが融合する未来社会を創生する ―

新潟大學 NIIGATA UNIVERSITY

本学の強みと社会要請による10年後の大学院Vision

- **高度な専門性と文理融合・学際教育で、**複合的課題を解決できる**「総合知」**
- 社会共創事業と産学連携の場を活用した実践型大学院教育
- 博士取得者数を3倍増で研究力強化
- **高度専門人材職 (University Administrator : UA) を活用**

３つの大学院教育改革戦略

戦略1	戦略2	戦略3
高度な「総合知」を涵養する学際教育の推進	グローバル共創の現場を活用した実践教育の実施	優秀な学生獲得と社会活躍の徹底

大学教学経営システム改革

大学教学経営システムの改革に全学で取り組みながら、大学院教育改革戦略を実施

新潟大學 NIIGATA UNIVERSITY

全学をあげた融合大学院構想の実現

複雑な社会課題に対応するため、従来の「専門知識偏重」教育から脱却し、総合大学のリソースを結集した「高度な専門知識」と「学際性」を両立させる教育カリキュラムを通じて、領域を超えた知の融合を実現し、「総合知を創出する場」へと転換させる

- 学部教育でのメジャー・マイナー制の導入
- 創生学部を創設

学部において学際的柔軟な教育に対応

学際性重視の教育を大学院に展開

- 全ての学部で1学部1学科化を実施

R7年度以前

- **現代社会文化研究科 4専攻**
- **医歯学総合研究科 6専攻**
- **自然科学研究科 5専攻**
- **保健学研究科 1専攻**

総合知を創出する場

R8年度設置
総合学術研究科
人文社会科学専攻
自然科学専攻

「新潟学際型学位プログラム」
日本酒学、アニメ・映像資源科学
ひと脳・健康科学プログラム、など

R8年度設置
医歯保健学研究科
医歯学専攻
健康科学専攻

脳とこころの医学研究
メディカルサイエンス
次世代医療技術科学、など

人文学部 | 教育学部 | 法学部 | 経済科学部 | 理学部
医学部 | 歯学部 | 工学部 | 農学部 | 創生学部

３つの大学院教育改革戦略

新潟大學 NIIGATA UNIVERSITY

戦略1

高度な「総合知」を涵養する学際教育の推進

実績・強み

日本酒学プログラムで大きな反響

- JST次世代事業（新SPRING）で、マルチラボ･アントレプレナー教育が高い関心

展開

戦略　（実績・強みの発展）

- R8年度に**総合学術研究科・医歯保健学研究科に改組**
  - **魅力的な学際型プログラムの拡大**
    アニメ・映像資源科学プログラム、
    ひと脳・健康科学プログラムなど
  - **文系理系学生が共修する学際型PBL**
  - **学修意欲を高める短期修了制度の拡大**
  - **多職種連携を見据えた医療系の横断教育**
- **マルチラボ・アントレプレナーシップ教育を全学生を対象に拡大**

３つの大学院教育改革戦略

新潟大學 NIIGATA UNIVERSITY

戦略2

グローバル共創の現場を活用した実践教育の実施

実績・強み

- 新潟大学が先導し、地元企業・自治体が参加する８つの組織型産学地域連携プロジェクト（共創IP）が進行・展開中。今後も毎年増加予定

・内閣府「地方大学・地域産業創生交付金」を新潟市と地元企業と協働で実施

・162団体とのコンソーシアム

- グローバル共創拠点（ベトナムメコンデルタ地域）を拡大中

- J-PEAKS事業（R6年度採択）により、順次インド、ベトナム、フランスに国際共同運用ラボを開設

印・越・仏の大学

国際共同運用ラボを開設

戦略　（実績・強みの発展）

活用 ▶

- **産学地域イノベーション実践教育**

活動の現場で実践教育を実践。**日本人学生と留学生が協働で複合的課題を解決することで、博士イノベーターの素地を獲得**。参画する企業にも産学連携研究成果に基づく学位取得意欲の促進→社会人学生

展開 ▶

- **グローバルイノベーション実践教育**

海外の機関・自治体との組織型連携プロジェクトの現場で実践し、国際博士イノベーターの素地を獲得

展開 ▶

- **新潟大学の国際拠点化**

グローバルキャンパスの実現

３つの大学院教育改革戦略

新潟大學 NIIGATA UNIVERSITY

戦略3

優秀な学生獲得と社会活躍の徹底

実績・強み

- PhDリクルート室（R2年設置）による博士人材育成実績

  多様なキャリア支援メニューを展開し、社会で活躍する博士人材を延べ100人以上輩出

- 海外リエゾンプロフェッサーを提携校に配置

  2016年創設、2025年5月現在、16か国23名が就任

- J-PEAKSによる国際共同運用ラボの設置

- 共同教育講座制度による社会人の履修プログラム

展開

展開

展開

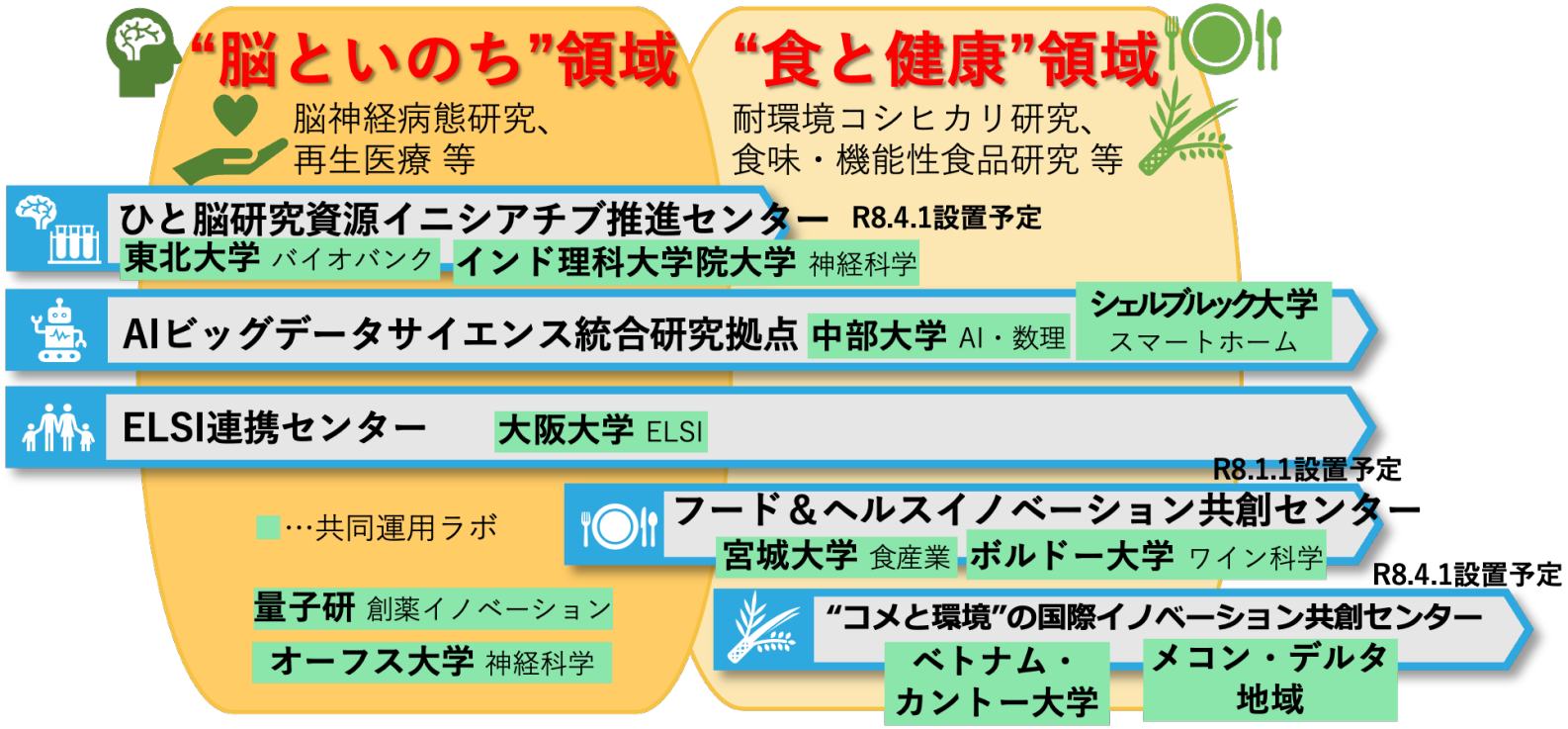
戦略　（実績・強みの発展）

- **日本人学生の獲得**
  - アカデミアリクルート＆キャリアパス支援
  - 他学の学生に向けて本学大学院の魅力を発信
  - キャリアパス支援を全学展開
- **留学生の大幅な獲得と日本定着**
  - 国際PhDリクルート室を設置し、新潟大学の魅力を発信
  - 海外機関との組織型共同研究を通して留学生を獲得
  - 日本語学校との連携による現地での語学教育
- **社会人博士学生の獲得**
  - 企業・自治体との連携を通し社会人に向けた博士学位取得を支援
- **PhDリクルート室を活用した社会活躍の徹底**

J-PEAKSの事業を用いた研究力の強化体制

新潟大學 NIIGATA UNIVERSITY

“国際的優位性”や“特色ある分野”を結びつけた重点領域



研究とイノベーション(R&I)を両輪として発展・強化

- 2つの重点領域と多彩なセンターを活用した大学院教育を強化
- イノベーションを創出する博士人材を多数輩出

世界トップレベル大学院教育拠点形成

新潟大學 NIIGATA UNIVERSITY

グローバルキャンパスを拠点とした産学地域連携と国際連携

産学地域連携（共創イノベーションプロジェクト）

にいがた 2km「おいしさDX」プロジェクト

https://www.ircp.niigata-u.ac.jp/co-creation/ip/

国際連携（J-PEAKSの国際共同運用ラボ）

印・越・仏の大学

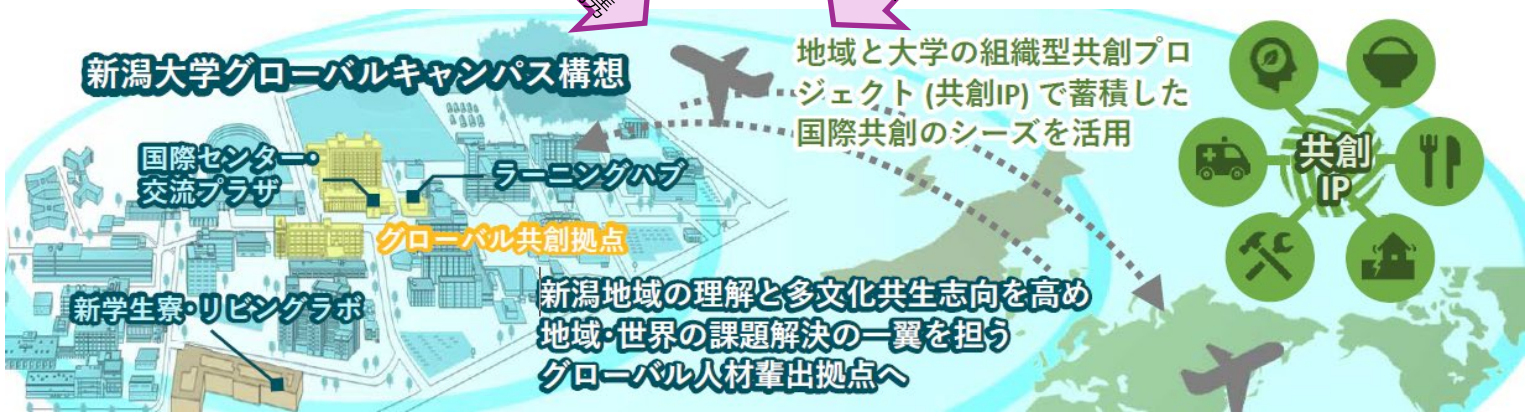
＋　その他の連携大学

リエゾンプロフェッサーを起点として、連携大学や周辺大学で広報と学生獲得

国際共同運用ラボを設置

https://www.niigata-u.ac.jp/j-peaks/

連携　連携



グローバル社会を牽引する博士イノベーターを育成